

ルクセンブルク経済・金融情勢（2012年4月）

【トピック】

- ・ シュナイダー経済・通商大臣がモスクワを訪問。
- ・ アンリ大公爵妃両殿下が、ギヨーム皇太子殿下を伴い、初のドイツ公式訪問。アッセルボルン副首相兼外相、フリーデン財務相、モデルト文化大臣、シュナイダー経済・通商相らが同行した他、医療研究、物流、再生可能エネルギー等各ビジネスセクター関係者から構成される経済ミッションも同行した。
- ・ 独との間で現行条約を代替する新しい二重課税防止条約を締結した。
- ・ ギヨーム皇太子臨席の下、当国とロシアの二国間経済関係に関する「グローバル・ロシア・ビジネス・ミーティング」が当国内で開催された。

1. 製造及び建設セクター

製造セクター

直近の景気動向調査結果（2012年3・4月）によると、今年の投資額は約20%増加すると予測されている。ただし、景気情勢が不透明であることとデータのばらつきが大きいことに注意すべきである。今般の投資の回復は、2011年終わりから2012年初めに工業生産が悪化したことと対照的である。

建設セクター

景気動向調査結果によれば、4月には12%の企業が「業務は増加傾向にある」と回答したのに対し、5月にはその割合は6%に低下している。ただし、69%は「安定している」と回答しており、また雇用の見込みについても87%が「安定的」としており、業況としては一般的に良好なムードが継続しているといえる。

2. 金融セクター

- (1) 12年3月末現在銀行資産残高は7,847億ユーロ。
- (2) 12年4月末現在銀行数は143行。
- (3) 12年4月末現在投資信託残高は2兆2256億ユーロで、前月比0.38%増。

3. 雇用情勢

- (1) 12年4月の季節調整済み失業率は6.1%（推計値）。
- (2) 2011年からの経済停滞を受け、雇用市場は再び困難に直面している。2008～09年に失業者が急増した後、2010年には回復の兆しをみせていたが、再び景気情勢が悪化した。

4. インフレ

- (1) 12年4月のインフレ率は2.7%（前月同2.7%）。
- (2) 12年初めのインフレ率は3%近くにとどまっている。石油価格が再び急上昇しない限り、年の半ば以降2.5%程度に徐々に収束していくものとみられている。

※ 当国政府機関（統計局等）の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。